

学校名	研究課題	研究手法
金石中学校	道徳	家庭との連携

1 研究の重点と具体的な取組

(1) 家庭との連携

道徳の授業公開、道徳アンケートによる意識調査など、学校における道徳教育への理解と協力が得られるよう、連携のあり方を研究した。

(2) 地域との連携

地域の方に道徳の授業の外部講師として依頼し、連携の在り方を研究した。

(3) 外部講師の招聘

研究を進めるにあたって、年間を通して、北陸大学 東風 安生 氏をスーパーバイザーとして招聘し、定期的に研究の見直しを行った。

2 取組の検証

(1) 生徒、保護者、教員へのアンケート

来年度から実施される「特別の教科 道徳」の22の内容項目に基づいたアンケートなどを実施し、その結果から、取組について検証することができた。

(2) 外部講師による指導、助言

研究授業、整理会、校内研修会等で、客観的な指導・助言をいただき、研究について共通理解し、進行状況について定期的に見直すことができた。

3 成果と課題

(1) 成果

- ・アンケート結果より、生徒だけでなく保護者や教員の意識調査を行うことができ、現状の把握だけでなく、授業の導入にその結果を用いて、主題への意識づけに使用することができたこと
- ・地域の方をゲストティーチャーとして招聘し、生徒の道徳的価値の高まりの一端を担うことができたこと
- ・年間を通して、北陸大学の東風氏をスーパーバイザーとして招聘し、定期的に指導・助言を受け、共通理解・共通実践を図ることができたこと

(2) 課題

- ・アンケート結果の使い方に課題が残った。授業の中での生徒の意識の変容につなげ、終末にまで活用できる授業構成を考えていくこと
- ・ゲストティーチャーのお話を生徒の道徳的価値の高まりにより効果的につなげるため、打ち合わせを綿密に行うこと